

様式第1号 (第6条関係)

協働事業に関する提案書

令和 3年 4月 6日

(宛先)狭山市長

団体名 狭山遊糸会

所在地

代表者名 野本 照子

次のとおり、協働事業に関して提案します。

| | |
|-------------------------------|---|
| 1 提案する協働事業 | <input checked="" type="checkbox"/> 市民提案型協働事業 <input type="checkbox"/> 行政提案型協働事業 |
| 2 事業名 | ふるさと狭山の遺産「広瀬斜子織の普及啓発と復元」 |
| 3 事業期間 | 令和 3年 4月 16日から令和 4年 2月 28日 |
| 4 事業種別 | <input checked="" type="checkbox"/> 単年度事業 <input type="checkbox"/> 継続事業 |
| 5 事業予算 | 273,000 円 |
| 6 事業概要 ※100字以内で簡潔に記入してください | 狭山の文化遺産「広瀬斜子織」を、広く市民に知ってもらい、実際に織りを体験してもらうことで郷土愛の醸成を図ります。 現在ではほとんど残されていない織り機の整備や技術の習得、情報の収集により、「広瀬斜子織」の復元を目指します。 |
| 7 添付書類 | <input type="checkbox"/> 協働事業に関する企画書 (様式第2号) <input type="checkbox"/> 協働事業収支予算書 (様式第3号) <input type="checkbox"/> 協働事業実施スケジュール (様式第4号) <input type="checkbox"/> 協働事業提案団体概要書 (様式第5号) |



協働事業に関する企画書

団体名 狭山遊糸会

| | |
|---------------|---|
| 1 事業名 | ふるさと狭山の遺産「広瀬斜子織の普及啓発と復元」 |
| 2 事業の詳細 | <p>◎市民を対象にした普及啓発活動</p> <ul style="list-style-type: none"> ・広瀬斜子サロンの開催、織り体験講座の開催 ・文化祭における企画展示 <p>◎インターネットを利用した情報発信・収集</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ブログ、Youtube等 <p>◎技術向上と復元織りの準備</p> <ul style="list-style-type: none"> ・精練、整経、糸綜紉作り、綜紉通し、箆通し |
| 3 実施体制 | 狭山遊糸会会員を中心に実施 2020年11月現在23名 |
| 4 役割分担 | <p>【提案団体の役割】</p> <ul style="list-style-type: none"> ◎イベント・研修の企画・実行 ◎関連情報の発信・収集 ◎技術向上と織り機・道具の整備 ◎自立に向けた自主財源確保の検討、協力者との連携模索 <p>* SDGs、協働事業の目的に照らし合わせながら、提案団体としての役割を果たしていきます。 特に大量生産、大量消費時代の「買う-捨てる」とは違う、「造る-再利用」の感覚を身につけるキッカケとなる子ども向け織物体験を積極的に進めたいと考えます。</p> |
| | <p>【市の役割】</p> <ul style="list-style-type: none"> ◎広報誌、HP等での活動周知 ◎市主催イベント、公共施設等での成果の公開 ◎情報の提供・共有 ◎経費支援 |
| 5 協働の効果 | <p>◎市の発信力や、市民への信頼感を得ることで、</p> <ul style="list-style-type: none"> ・広瀬斜子織の周知が推進されます。 ・情報収集、技術発掘につながります。 ・各種イベント企画が容易になります <p>その結果、郷土愛の醸成、及び製品化による地元名産品の創造が可能となり、まちおこしにもつながっていくと考えます。</p> |
| 6 事業のアピールポイント | <p>広瀬斜子織は、地元出身の清水宗徳が深く関わり、社会科の副読本にも掲載されています。 狭山市民全体の財産である、この広瀬斜子織の普及啓発・復元は今が最後のチャンスと考えます。</p> |